

地方創生と

実践から学ぶ

地域金融



山口省蔵
江口晋太郎

脱・従来型の
「企業×金融×行政」連携が生む
サステイナブルな経済循環

ローカルプロジェクト11事例の舞台裏

学芸出版社

実践から学ぶ

地方創生と地域金融

2021.5月

株式会社 金融経営研究所
山口省蔵

1963年 東京生まれ

父親は零細企業を経営

1987年 上智大学法学部卒業

1987年 日本銀行入行

金融機関の考査・モニタリング部署を中心に経験

2011年 金融機構局金融高度化センター 企画G長

2013年 金融高度化センター 副センター長

2018年 日本銀行退職

2018年 株式会社金融経営研究所設立 所長に就任

山口省蔵の略歴

山口 元 日銀副センター長



日本銀行の金融高度化センターで副センター長を務めた山口省蔵氏(54)が9月3日に金融経営研究所を設立した。「金融の機能向上を通じた日本経済の成長」を目指し、主に金融機関向けのコンサルティングやセミナーなどを展開していく。

金融経営研究所を設立

「熱い金融マン協会」も

山口氏は1987年4月に日銀に入行。京都支店次長や考査、モニタリングに長く携わり、11年から18年夏まで金融高度化センターに在籍。副センター長として多くの金融機関と意見交換し、商流ファイナンスや創業支援、企業評価、IT活用など多様なテーマでのセミナーを企画・運営してきた。

8月末に日銀退職後、翌営業日に研究所を設立。10年後に日本

の再成長の秘密は、金融の進化にあったと言わせた」と抱負を語る。コンサル事業の中心理念には「顧客支援2・0」を掲げる。金融機関は組織を伝統的なピラミッド統制型から「セルフマネジメント型」に移行し、営業店職員が中心となり全顧客を支援できる「顧客支援機関へ生まれ変わる必要がある」と力説。年内には賛同者を募り、「熱い金融マン協会」と名付けた新協会を発足させる予定。既に関西地区から入会希望の声も寄せられている。

2018年9月14日 ニッキン

「熱い金融マン協会」設立



熱金
熱い金融マン協会

金融マンが変われば金融機関が変わる



金融機関が変われば日本が変わる

金融経営研究所

「熱い金融マン」50人集合

新田理事長が記念講演

○…熱い金融マンたちが全国から集合—。金融経営研究所（山口省蔵所長）は1月21日、1回目の「熱い金融マンセミナー」を開催した。第一勧業信用組合本店で18時から開かれ、新田信行理事長が記念講演した。当日は初回ながら地方銀行や信用金庫、信用組合、保険会社の役職員、弁護士、山口所長の前職である日本銀行の職員ら50人近くが来場。関西地区から訪れた参加者もあり会場は熱気に包まれた。

新田理事長は冒頭、バブル崩壊やリーマン・ショックの経験に対して「日本の金融界には反省が足りない」と指摘。ノルマ営業や離職者の増加、人気低迷など最近の金融業界の問題点などを指摘し「バンカーの誇りや尊厳を取り戻したい」とセミナー講師を務めた理由を明かした。

新田理事長の講演に聞き入る熱い金融マン
（1月21日、第一勧業信組本店）



リレーションシップキャピタルを増やすことを念頭に置いた信組経営や持続可能な経済・社会・環境の発展へ融資する使命を有する銀行・協同組織金融機関で構成される国際的ネットワーク「GABV」に日本初で参加した理由・意義などを説明した。金融経営研究所は「年6回程度セミナーを開催する予定」（山口所長）。2回目は2月22日に開く。



地方創生と

地域金融

実践から学ぶ

山口省龍
江口晋太郎

脱・従来型の
「企業×金融×行政」連携が生む
サステイナブルな経済循環

ローカルプロジェクト11事例の舞台裏

学研出版社

本日の熱い金融マン

1. 秋田県信用組合（北林氏）
 2. 北都銀行（斉藤氏）
 3. 但馬信用金庫（宮垣氏） → 地場産業の新展開
 4. 第一勧業信用組合（新田氏） → コミュニティへの貢献
 5. 塩沢信用組合（小野澤氏） → 次世代の支援
- 地域資源の活用

1. 耕作放棄地の活用

田舎ベンチャービジネスクラブ



(新たな産地の創出)

にんにく栽培、どじょう養殖



北林貞男氏

秋田県信用組合理事長

秋田県の消滅可能性都市

【消滅可能性都市】

2010年から2040年にかけて20～39歳の若年女性人口が5割以下に減少する市区町村

秋田県内市町村

25のうち24

【唯一の例外】

大潟村（戦後に八郎潟を干拓して作った米作の村。人口3000名。県内自治体の中で人口の少ない順で3～4位）

【ビジネスクラブ】

一般的には、金融機関が取引先をメンバーとして、「講演会の開催」や「会報の発行」などを行っている。

I 田舎ベンチャービジネスクラブの取組み



1 クラブ発足経緯・目的等

- (1) 平成22年2月、秋田県信用組合の北秋田市内3支店（鷹巣・森吉・合川支店）で、地域経済の活性化を目指し、会員企業相互の交流、事業発展と新規事業の立ち上げを目的に発足。
- (2) 会員資格は、北秋田地域に居住し、秋田県信用組合と取引があること、事業意欲が旺盛で、今後、事業拡大もしくはニュービジネスを検討中であることなどとした。
- (3) 建設業、農業法人などの経営者12名を会員としてスタート。

2 主な活動内容

(1) 自己啓発

①有識者による講演・講話

- ・ 地方再生
- ・ 農業再興
- ・ 6次産業化
- ・ 休耕地の活用
- ・ 農業法人の立ち上げ
- ・ 秋田杉の活用・・・

②行政機関との情報交換（現状報告、指導・アドバイス）

③起業研究（当組合からの起業提案）

- ・ にんにく栽培
- ・ どじょう養殖
- ・ 自然エネルギーの活用



にんにく栽培

田舎ベンチャービジネスクラブの会員建設業3社が、
農業法人(株)しらかみファーマーズを設立



- ①公共工事の縮減
- ②耕作放棄地の活用
- ③気候面での適性

(資料) (株)しらかみファーマーズ

にんにく栽培の課題

「10tトラック 1台分のにんにく」の出荷時、卸業者から、

「7,000円」

「秋田はにんにくの産地ではないでしょう」

と言われた（競合は海外産。国産なら青森が産地）。

にんにく栽培の課題

加工→黒にんにくへ（発酵・熟成）

しかし、秋田には、黒にんにく製造のノウハウがなかった。

秋田県信用組合→青森県信用組合経由で、生産者紹介
（信組ネットワークの活用）



「100g 700円以上」 で販売



1万倍

「10t 7,000円」

産地化への生産者拡大

地域経済の活性化を応援します。

田舎ベンチャービジネスクラブ

会 員 募集中

会長 上杉 操
後援 秋田県信用組合
理事長 北林 貞男

 **にんにく栽培講習会**
開催のご案内

- 1.日 時 平成26年8月8日(金) 15時より
- 2.場 所 秋田県信用組合鷹巣支店 2階会議室
- 3.参加人数 先着 20名様 (やる気のある方・素人大歓迎)

※お申込・お問合せは事務局(秋田県信用組合・鷹巣支店)まで
TEL 0186-62-1480

☆にんにくを植えてみませんか！
(株)しらかみファーマーズが栽培の
ノウハウを教えて、全量買取りい
たします。(次回8月下旬開催予定)

2018年「秋田県にんにく生産者協議会」

秋田県にんにくメガ団地構想
(秋田県園芸メガ団地整備事業)

県外への販売

信組ネットワークの活用



販促活動のためなまはげになる信組職員

2. 風の活用



熱い金融マン講演者
斉藤永吉氏
北都銀行 取締役会長

以前の秋田の風力発電

規模の問題（大型ウィンドファームは100億円超）



県外大手企業とメガバンクが主体

「それは、まるで植民地でした」

（北都銀行 斉藤会長）

秋田の風力発電の課題

- ① **地元の担い手**（資本金面、技術面）がない。
- ② **巨額のプロジェクトファイナンスができる**
地域金融機関がない

北都銀行の取組み経緯

①(株)市民風力発電（注）への調査（2010年頃）

（注）日本初の市民出資による風力発電所の建設・運営会社（北海道）。2001年設立。

②「再生可能エネルギー固定価格買い取り制度」（注） 2012年開始決定（2011年）

（注）FIT：Feed-in Tariff。再生可能エネルギー普及のために、電力会社による電力買取り価格を法律で定める制度

③地元の羽後設備(株)の佐藤社長との連携（2011年末）

ウェンティ・ジャパン



ローマ神話で風の神の総称
VENTI。古代ラテン語で風の意味。

【カンパニーメッセージ】

「僕らの目指すもの・・・ 秋田発の風エネルギー」



ウェンティ・ジャパンは、東北、北海道の日本海側を中心とした豊かな風で風力発電事業を展開する会社です。

化石燃料に頼りすぎたエネルギー事情への反省と、東日本大震災を契機とした原子力発電所のありように関する議論の中、再生可能エネルギーに対する期待は大きくなっています。

当社の事業の中心地域である秋田県は、風力、地熱、バイオマスなど再生可能エネルギー資源の宝庫です。

とりわけ風力発電については国内屈指のポテンシャルがあり、電力の固定価格買取制度(FIT)を機に、風力発電への参入が活発になっています。

ウェンティ・ジャパンは、こうした地の利を活かした風力発電事業と付随する保守メンテ事業などの関連事業を展開していきます。さらには、風力発電設備に関連する製造業などの産業創出を目指してまいります。

創業	2012年9月
資本金	30百万円
代表者	代表取締役社長 佐藤 裕之
従業員数	7名
事業	・ 風力発電事業 ・ 発電施設の開発や運営、 保守・管理
株主	羽後設備(株) (株)市民風力発電 羽後電設工業(株) (株)フィデア総合研究所 フィデア中小企業応援ファンド 1号投資事業組合



←設立記者会見

(資料) 北都銀行

風力発電コンソーシアム

ウインティ・ジャパンと北都銀行が共同で設立



会員総数100団体以上

(2019年3月現在)

地公体・大学・電力事業者
土木建設・メーカー・製造業
金融等様々な業種の団体

産業化研究部会

電力インフラ研究部会

O&M研究班

部品産業化班

地域振興班

インフラ研究班



(2013年9月17日設立総会の様子)



(地域振興班会議中の様子)

(資料) 北都銀行

ウェンティ・ジャパン

風力発電事業の連携

北都銀行

営業推進部地方創生室
4名体制

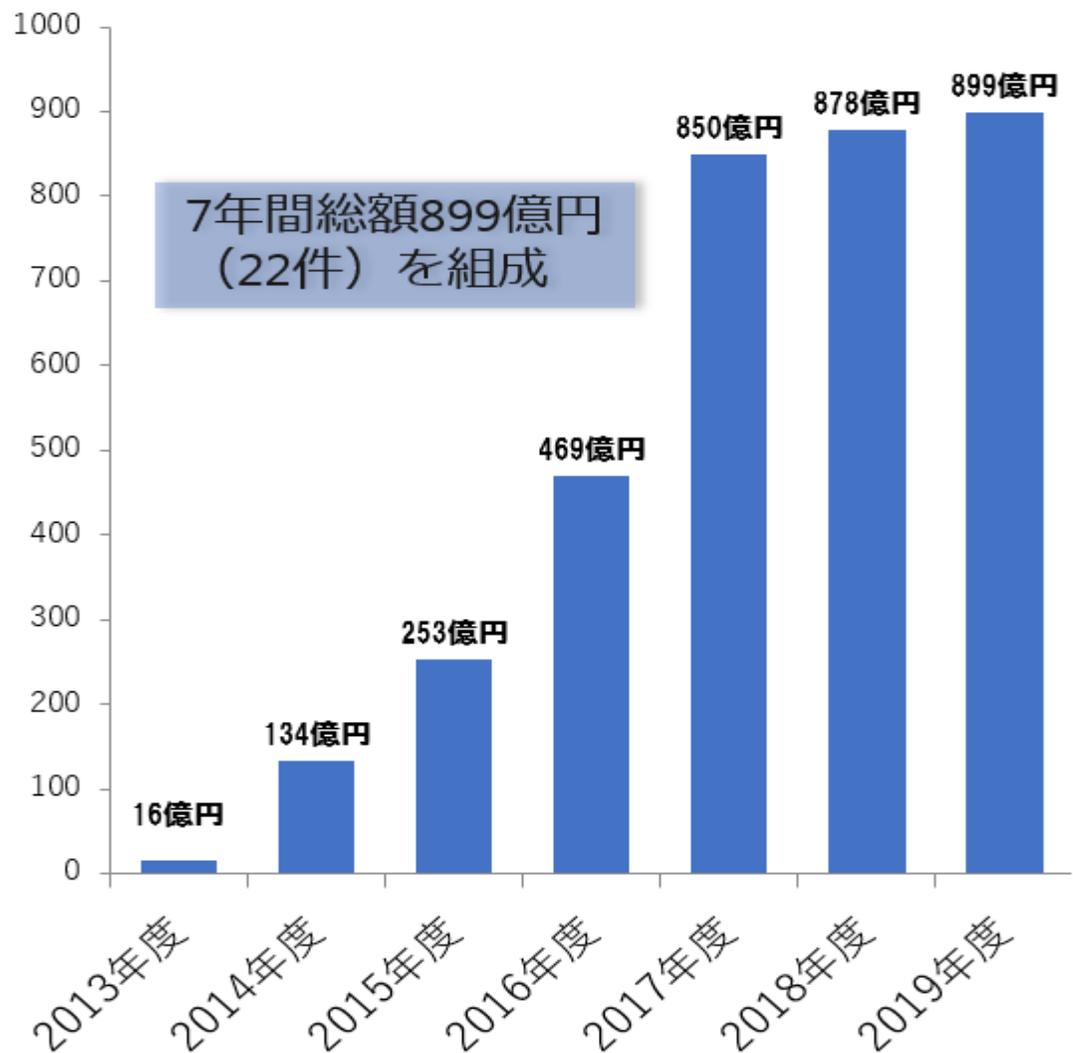
トレーニー

人材育成

ノウハウ

みずほ銀行
プロジェクトファイナンス部

プロジェクトファイナンスの組成額累計



(資料) 北都銀行

「秋田をブレーマーハーフェンのように」

(北都銀行 斉藤会長)



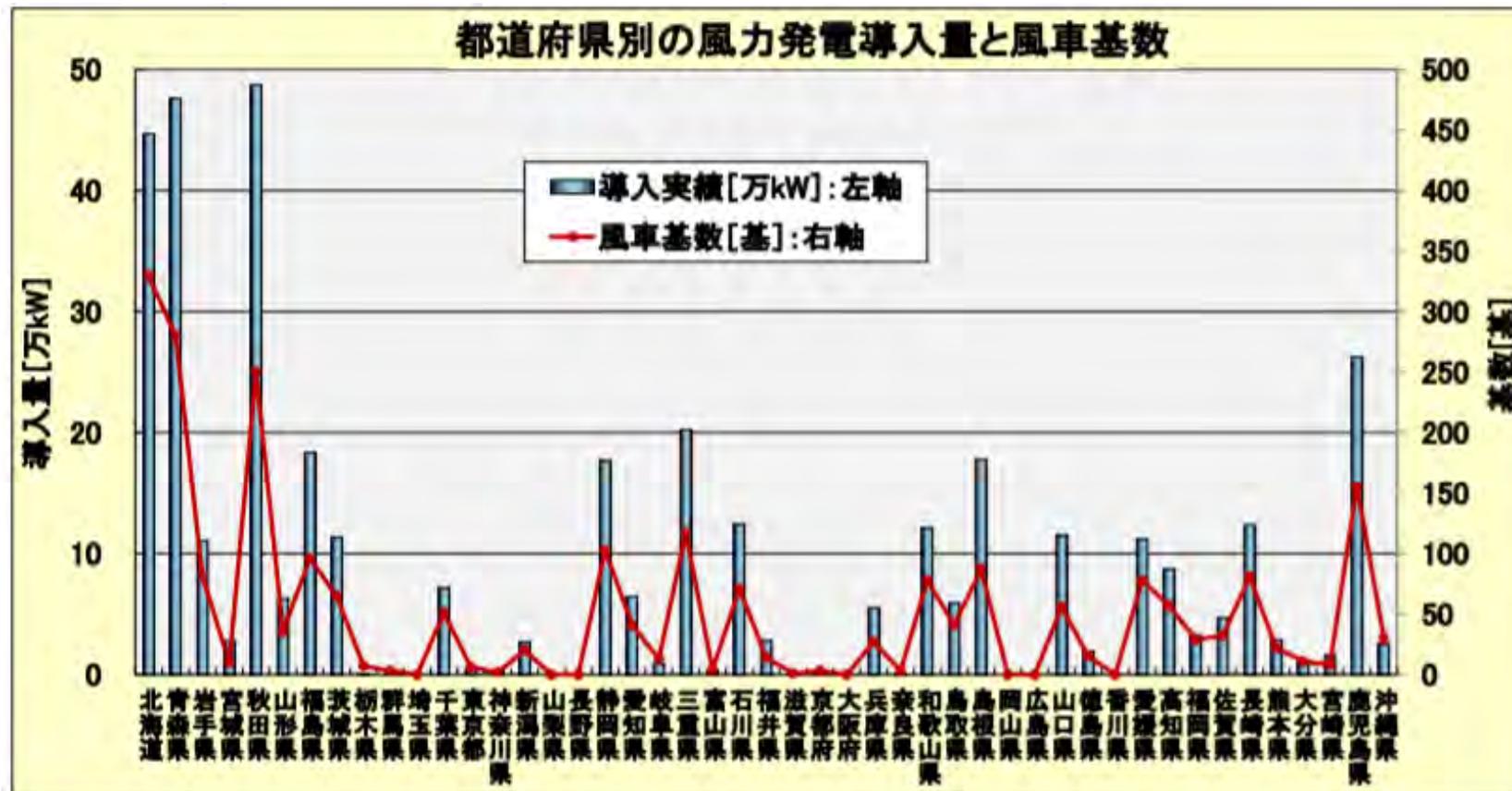
【ブレーマーハーフェン】

- ドイツブレーメン都市州の北海に面する港湾都市。
- 「主力産業だった造船業の不調」等により、失業に悩まされていた。
- 2010年代後半、風力発電企業の誘致による構造転換によって、目覚ましい経済発展を遂げた。

「きりたんぽ、はたはた、風」

(ウエンティ・ジャパン 佐藤社長)

2019年末都道府県別風力発電導入量



(資料) 日本風力発電協会

3. 地場産業の新展開



熱い金融マン講演者
宮垣健生氏
(但馬信用金庫 常勤理事 兼 事業支援部長)

宮垣健生(みやがき たけお)氏 プロフィール
慶應義塾大学 経済学部卒。東京でコンサルティング
経験を積み、但馬信用金庫へ。信用金庫では審査・組
織戦略・リスク管理・職員研修・地域ビジネス創出支援・
本店営業部長等の業務を経て現職に。
2015年(創業支援)、2018年(地域プロジェクト支援)の
2回にわたり、日銀金融高度化セミナーに登壇。

豊岡市 中心市街地エリア

— 県道
城崎温泉へ



— 宵田商店街

↓ 兵庫県南部へ

カバンストリート(宵田商店街)活性化支援



新拠点トヨタカ カバン アルチザンアベニュー



2014年4月オープン



2014年アルチザンアベニューオープン後、カバンストリートも活性化 (鞆・アパレルの新規出店が5店舗、第2創業が1店舗)

